

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

6年生を対象に実施された『全国学力・学習状況調査』について結果をお知らせします。本調査は、国語・算数・理科の3教科と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。国語科・算数科・理科の結果概要と児童質問紙調査の結果から本校の子どもたちの状況をお伝えします。

国語科より

全体の正答率は全国・京都府平均を大きく上回っています。思考力、判断力、表現力等を問われる問題の中では、「書くこと」について、正答率が全国平均・京都府平均を大きく上回っており、記述式の問題も正答率が高くなっています。特に「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」問題や、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける」問題では、10ポイント以上平均を上回っていました。一方で、「漢字を文の中で正しく使う」問題では、**正しく漢字や送り仮名を書くことに課題**が見られました。GIGA 端末の活用が増え、協働的な学びを進める活動が増える一方、文字を正しく丁寧に書く経験を減らさず、文や熟語の意味を考えながら、生活に関わる具体的な場面をイメージできるようにすることを大切にしていきます。

算数科より

全体の正答率は全国・京都府平均を上回っています。「図形」「データの活用」の問題について特に理解が高く、正答率が全国・京都府平均より3～20ポイント上回っています。また、記述式の問題についても大きく上回っており、国語科の「書く」でつけた力が算数科にも発揮されていることがうかがえます。一方で、「二つの数の最小公倍数を求める」問題や、「変化と関係（割合）を求める」問題は、京都府平均を下回るものも見られました。割合の問題では、文章で解き方を説明する問題が無回答であったり、式のみや説明不足で解答していたりする様子が見られました。**日ごろの授業の中で、自分の考えをしっかりと表し、友達との話し合いを通して考え方を説明し、理解を深めるために、協働的な学びを進めています**が、さらに機会を増やし工夫していきたいと思います。

理科より

全体の正答率は全国・京都府平均を大きく上回っています。全体的に、どの領域、評価の観点、問題形式を見ても、3～11ポイント全国・京都府平均を上回っており、基本的な問題は十分に理解できています。本校の児童は、生き物に興味をもったり優しく接したりする姿がよく見られます。また、科学の現象にとっても関心を持ち、理科の学習に楽しんで取り組んでいます。自由研究の取組からも、探究心や自然科学への興味関心をもつ児童が増えており、その結果として表れたのではないかと考えられます。一方、「メスシリンダーの正しい扱い方（読み取り）」などの**基本的な実験器具の使い方**や、「光の性質について」の問題など、**3年生時の学習内容の定着に課題**が見られました。理科で学んだことが、常に生活に関わっていることを意識し、生活に生かすことができるように、環境整備や科学的に思考する力の育成に努めていきたいと思います。

児童質問紙より

1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない

Q 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

	1	2	3	4	その他	無回答
本校	30.6	50	18.1	1.4	0	0
全国	37.7	42.4	14.8	4	0.9	0.2

Q 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

	1	2	3	4	その他	無回答
本校	62.5	33.3	1.4	2.8	0	0
全国	65.5	28.9	3.6	1.7	0.2	0.1

Q 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

	1	2	3	4	その他	無回答
本校	15.3	41.7	25	18.1	0	0
全国	27.5	43.6	21.4	7.4	0	0

Q 将来の夢や目標を持っていますか

	1	2	3	4	その他	無回答
本校	43.1	18.1	18.1	20.8	0	0
全国	60.4	19.4	10.3	9.9	0	0

話し合う活動を通して考えを深め広げることや、ICT 機器の学習への活用（GIGA スクール構想の推進）の項目などが全国平均よりも上回りました。一方で、「家で自分で計画を立てて勉強をする」「将来の夢や目標をもつ」という項目については、全国平均よりも下回りました。学校での学習内容と家庭学習との連動、自主学習ノートの取組、キャリアノートの活用、自己有用感の高揚、ICT 機器を効果的に活用した授業の工夫や子どもたちがやりがいを持って取り組める活動の創出など、今後も学校教育目標実現のために、教職員一同、一致団結して取り組んでいきたいです。